



Est.1912

よこ館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



「温故知新」



レコードが大流行りだそうで、国内の生産量は年ごとに二倍の増、渋谷の音楽専門店には専用フロアまであって、この10年で10倍の売り上げだと語るのは、驚き顔の店長だ。そう言えば桑田圭祐さんやキャリーパミュパミュさんは CD と同時にレコードでもアルバムをリリースしてはいたが、先月、11年ぶりのアルバムをリリースした山下達郎さんは CD とレコード、なんとカセットでまでリリースするというアナログへの拘りぶりである。

このアナログ大ヒットの背景は、レコードの時代に生まれていなかった世代、つまりは「若者」がその魅力にとり憑かれたことが大きな要因だという。

一曲ずつチョイスしてスマホにダウンロード、ブルートゥースのワイヤレスフォンでいつでもどこでも簡単に音楽を楽しめる今の時代にあって、保護袋からレコードを慎重に取り出し、傷に注意してターンテーブルに安置、繊細な針を盤面に落とすという手間暇、プロセスが、お気に入りのアーティストや楽曲への愛着や愛おしさを増すのだそうで、デジタルにはない魅力だという。取材に応えた若者は「温故知新」だと真顔で話していた。

私もお気に入りのレコードの保存と再生環境を細々と護ってはいるが、音質が柔らかいとか再生領域が云々等と蘊蓄を垂れる「レトロおじん」とは全く異次元のブームとその背景に舌を巻く。

(高齢事業本部 本部長 旭 博之)



本部事務局だより 「その評価値は本当か？」

インターネットで飲食店を探すとき、どのように計算されているか判らないが、つい気になってしまう「評価値」。東京地裁は、6月16日の判決で、「食べログ」側が掲載店舗に対して“優越的な地位を乱用した”として独占禁止法違反を認めました。

「食べログ」については、これ以外にも①掲載拒否できない、②有料会員に入った店舗が上位表示される、③有料会員になることを断ると点数を下げられる、④有料会員にならないと「高評価の口コミ」が削られ、「低評価の口コミ」だけ残る、⑤高い会費の会員にならないと点数を下げられる等々、従来から様々な問題点が指摘されてきました。今回、ようやく「評価点の算出方法を変えた事」のみですが違法性が認められました。しかし、算出方法や算出基準は開示されませんでした。

インターネットや AI の発達は、便利で簡単なので、つついそれらのニュースや評価値に頼ってしまい、自分の目や舌で判断しなくなり、評価値に影響されがちです。

フェイクニュースを含めて多くの情報が氾濫する中で、私たちは「計算方法が判らないインターネットの評価値」のみで判断するのではなく、評価会社の問題を含めて、多くの情報を比較検討し、自分の目で見て判断する習慣を身につけることが必要です。

それでは至誠学舎立川の評価値を見てみましょうか？

(法人事務局長 野島忠幸)

**児童事業本部**

コロナの感染拡大も少し減少の兆しが見えた6月、全国児童養護施設協議会 養育 に関する特別委員会が、京都の児童養護施設 舞鶴学園で開催することになり参加して来ました。数年振りに新幹線に乗って都外から出ました。久しぶりに施設の現場を見ながら顔を突き合わせての議論は、五感を刺激されるからでしょうか、リモートでは得られなかった成果がたくさんありました。

舞鶴学園は至誠学園と同じくらい長い歴史のある施設で、「生活で失われたものは、生活でしか取り戻せない」という考えから、日々の暮らしを大事にされています。門から一步足を踏み入ると、目に入るのは木々に囲まれた芝の庭。真ん中に大きな1本の木が植えられ、色とりどりの花、ベンチや可愛いリスや小鳥、小人の置物などが所々に置かれ、ふっと心が緩みます。庭を囲むように建てられた2階建ての年月を感じさせる和風建築の家6棟には、バルコニーに布団や洗濯物が干され、各寮舎の生活のいとなみを感じられます。どこの家の玄関にも庭で摘んだ花が飾られており、吹き抜けの室内は、質素ですがゆったりとした雰囲気。「見学のために整えました」と言われますが、丁寧な生活ぶりが窺えました。「お家に帰ってゆっくりしたい！」そんな気持ちにさせる心地よい空間でした。改めて、人間にとって「住まい」をどう整えるかを考えました。安心・安全を脅かされてきた施設の子も達だからこそ、ホッと一息つける生活環境づくりを思い出させてくれた施設見学でした。

(至誠大空の家 施設長 国分美希)

**保育事業本部**

諏訪の森保育園といえば、園の基本方針は「おおきなひとつのかぞく」です。4月から保育園に自分の身を置かせていただき、改めてその意味を全身で理解することができたように思います。園長交代という大きな変化に対して、本来でしたら園児・保護者・職員と、反応が大なり小なり見られる覚悟でいましたが、初日から家族の一員として、温かく迎えていただきました。

3ヶ月経過した現在も、家族の一員として迎えていただいた、その感触は変わることなく。斎藤相談役から「ナース愛児センター・学園の流れが諏訪の森にはあるのよ」とお話を伺う度に「なるほど」と、納得できるように思います。これまで大切にされてきた、温かな人を迎える志を大切に、職員と共に繋いでいきたいと思えます。

(諏訪の森保育園 園長 玉城 新)

**高齢事業本部至誠ホーム****～フォーリンスタッフの佇まい～**

外国人介護士を至誠ホームではフォーリンスタッフと呼んでいます。①留学生として来日し、介護専門学校を経て介護福祉士試験に登録し就労介護ビザとして勤務②技能実習生として来日し勤務③特定技能資格者として来日・来園し、勤務している人がいます。配属先は至誠特養に18名・アウリンコに18名・オン二に7名・調布若葉に3名・キートスに13名・ミンナに9名です。6月以降はあと3名が来園して、合計では70名を超えます。至誠ホームの職員合計730名(4月1日現在)・フォーリンスタッフは約8.3%を占めます。彼らは週40時間勤務のできる契約職員です。介護福祉士合格者は現在15名ですが、順次資格者を増やしてまいります。出身国はベトナム・スリランカ・ネパール・カンボジア・ラオス・インドネシアの6か国。一番多いのはインドネシア人の人達です。住居は至誠ホーム本部6階職員寮と周辺に一括借り上げの3か所のアパートに、基本は2人部屋で住んでいます。貨幣価値が違うので、日本で得た収入を貯めて国元に送金したり、将来の結婚や住宅資金にと積極的に仕事をしています。日本での暮らし方については 来園までにそれぞれの支援団体が事前にレクチャーを行ってくれていますし、さらに統括事務局にフォーリンスタッフコーディネータ(インドネシア人)を配置して、仕事と生活面についてフォローしています。

(高齢事業本部 副ホーム長統括事務局長 金井裕一)

(編集後記)7月10日は納豆の日！我が家の息子(1歳)は納豆巻きが好物です。ベトベトになりながらも、黙々と食べる姿を見ているとなんだか幸せな気持ちになります。しかし、食後の後片付けは・・・悲惨です。(小)